

江津市議会報告会実施報告書

	開催日時	平成28年5月13日(金) 19:00~20:30
	開催場所	黒松地域コミュニティ交流センター
	出席議員	責任者 藤田厚 報告者 土井正人 河野正行 坪内涼二 記録者 森脇悦朗(鍛治恵巳子,島田修二)
	参加人数	市民8人、議員11人、事務局3人
実施内容報告	議会報告	○ 開会あいさつ、自己紹介、式次第の説明 ◎各委員会報告 ・ 総務文教委員会(土井議員)5分・・・(1~9号、15~21号、31~34号) 1号 地域コミュニティ、15号 子どもほめ条例、20号 過疎計画、33・34号 給与の特例 ・ 建設厚生委員会(河野議員)2分・・・(10~14号、22号) 陳情について 5/24 委員会 ・ 予算委員会(坪内議員)11分・・・スクリーンにより説明、歳入 自主財源について、歳出 目的別グラフ(副次拠点、中心市街地、地域医療、最終処分場、他放課後・保育士確保・地域コミュニティ) ・ 補足説明(藤田議員)
	パネルディスカッション	《地域コミュニティについて》 司会(藤田議員): 江津市においては「公民館」から「地域コミュニティ交流センター」に移行していますが、現状についてどう考えますか。 河野議員(2分): 黒松は早くから立ち上げ、計画も多い先進地。講演会での発表が参考になる。二宮では恵良姫をやっている。今後参考にしていきたい。 坪内議員(3分): 渡津はまだ立ち上がっていない。波子ではゲストハウスを運営。特産品の開発、これまで公民館でできなかったこと。地域の取組が目に見える。人口が減少する中で総合戦略地域コミュニティの役割が大事。田舎でも近所づきあい、学校がない。子どもがいなくて活気がなくなる。自分の地域は自分で守ることが大事。各地域でコミュニティ活動が活発化している。渡津も参考にしたい。 土井議員(3分): 松平について、川平と松川をいっしょにしたことを

<p>実施内容報告</p>	<p>パネルディスカッション</p>	<p>反省している。やったからにはどうにかしたいが川を挟んでは困難。早くから始めたが一体化まで時間が必要。それぞれ独自事業と一緒にまとめなければならない。松平村塾も同時にしなければならないのが現状、智恵が必要。</p> <p>司会（藤田議員）：これからの課題はどうか。</p> <p>土井議員（2分）：人～携わる人、マネージャーの企画力が大きな力が必要。実務、マネージャーの確保、行政が卑怯、丸投げになっているのでは。もう少し行政職員が地域に入ってきてもらいたい。人材不足が課題。100万あげるからどうにかしろ。ポイントはマネージャー。</p> <p>坪内議員（4分）：課題、全体で感じるのは退職世代が世話している。①実行には若い人の力も必要。若人世代を巻き込む作戦が必要。嘉久志のリレー拵縁会。海士町長～若い人が出てこないのはどうすればよいか。町長～すぐにはできなくても若い人も見ている。②各地域で前向きに実施している。人口減少の中ではそれぞれも大事だが、市全体で各取り組みを共有すべき。コミュニティ間の連携が必要。</p> <p>河野議員（2分）：黒松の特色、きれいな海。夏の祭り、人口減少の中で1カ月以上前から準備、伝統文化を守る。交流人口増、PRが必要。県立大の学生。細くても長く続けるためにも守っていただきたい。</p> <p>司会(藤田議員)：終了、休憩。</p>
	<p>意見交換</p>	<p>市民：地域医療について、建物は立派だが、内容がいまいち、使い途ちはどうか。</p> <p>土井議員：1億昨年赤字補填。本年度医療機器更新重要。小児科が外勤、大事。非常勤の費用の赤字補填。なくすわけにいかない、子育てにも大事。目的を持った支援を行っている。根本的には医師不足、少なくとも20人必要、でないと黒字化できない。今年度は救急車以外でも受け付けるようにはなったがドクターに負担。中澤先生、院長・外来・夜勤。準なる赤字補填。</p> <p>市民：医師不足の努力は。</p> <p>土井議員：日々行っているが医局制が崩壊している、機能していない。若い人は自由に外へ出れる。島大は手一杯、非常勤は出してもらっている。島大のつながり月1でも出向いて縁戚関係をあたっている。千葉・北海道にも行っている。今は厳しいので今いる者で</p>

実施 内容 報告		<p>頑張っていく覚悟。内部ではドクター・看護師も変わってきている。</p> <p>市民：当分支援が必要。</p> <p>藤田議員：現在決まりかけている人もいる。</p>
	意見交換	<p>市民：人口問題 2040 年の予測があるが、もっと早く進むのではないかな。真剣に取り組むべきではないか。黒松も空き家対策 3 家族来ている。リフォーム費用の内容は。(支援等)。路地が多く解体できない危険空き家に対して対策は。人口増の取組、海について、漁業法のからみがあり使用できない。漁業特区はどうか。</p> <p>河野議員：海の活用については我々も勉強したい。空き家～個人財産、空き家条例を検討中。条例により対策はこれから。</p> <p>市民：議員と行政が一体にすべきでは。</p> <p>坪内議員：空き家、行政も把握できていない。(民) (民) はどうにもできない実態がある。国も空き家にならない取組。地域の方の情報が大事。貸し出しできるよう取り組みが必要。法整備は国がやるべき。I ターンの人々の住む家がないのが現状。シェアハウス、リノベーションキャンプ、泊まりながら家を直す活動もしている。松川蔵庭も改修している。</p>
	意見交換	<p>市民：浜の砂が多く河川がつまる。話が前に進まない。市では河口をきってもらっている。浜の砂の移動をどうしたらよいか。県ではむずかしいと言われる。冬場は特に心配。</p> <p>藤田議員：海岸保全は県にお願いするしかない。</p> <p>河野議員：議員の中で相談が必要。手続が大変なのは聞いている。ここではすぐに返答できない。</p> <p>市民：移動ができるのでは。</p> <p>藤田議員：執行部とも話をしていく。</p> <p>土井議員：河口閉塞について、市では対応がむずかしい。県全体でも多くある。</p> <p>市民：港の浚渫時西側へ移動している。海岸の砂の移動は可能と思うが、後は行政の手腕。</p> <p>土井議員：確約はできない。黒松の海、景観、漁業権の問題、地元の中でコミュニティで協議してもらいたい。議員として手伝いもやりたい。</p>

実施内容報告	意見交換	<p>市民：黒松の祭りについて宮島の管絃祭、市の文化財指定できないか。200年続いている。石見神楽だけでなくこうしたものも江津の祭りにしていけばいい。地元でも頑張っているが、伝統文化継承、支援が必要。検討してほしい。維持が困難。</p> <p>河野議員：神主としても努力したいが、地域の皆さんでやっていただきたい。</p> <p>市民：地元は無理してもやっている。</p> <p>坪内議員：初めて知った。知らない人が多いのでは。もっと発信して黒松の人だけでなく市全体での取り組み必要。</p> <p>市民：議員さん見てほしい。現状を知ってほしい。自分の出身地域でなく、市全体のことを知ってほしい。各地域を歩いてほしい。</p> <p>土井議員：こういう機会があるので我々も市の議員として対応していきたい。</p> <p>河野議員：7/23夜メイン,24</p> <p>司会（藤田議員）：これで終了する。</p>
要望・意見等		
その他特記事項		

平成28年5月13日

江津市議会議長 藤田 厚様

地区報告会責任者 藤田 厚

江津市議会報告会実施報告書

	開催日時	平成28年5月14日(土) 19:00~20:30
	開催場所	渡津交流館
	出席議員	責任者 森脇悦朗 報告者 森川佳英 永岡静馬 島田修二 記録者 石橋孝義(鍛治恵巳子、多田伸治、坪内涼二)
	参加人数	市民9人、議員8人、事務局1人
実施内容報告	議会報告	○ 開会あいさつ、自己紹介、式次第の説明 ◎各委員会報告 ・ 総務文教委員会(森川議員)6分・・・20号 過疎計画(国際交流)、 ・ 建設厚生委員会(永岡議員)7分 ・ 予算委員会(島田議員)14分・・・スクリーンにより説明 ・ 補足説明(森脇議員)1分
	パネルディスカッション	<p>《地域コミュニティについて》</p> <p>司会(森脇議員):現状についてどう考えますか。</p> <p>森川議員(5分):地域コミュニティの言葉は好き。一貫して疑問である。特産品・・・懸念している。営利活動ができるが、自主財源の確保が心配。当初予算の目的、自助、共助、公助であったはず。</p> <p>永岡議員(4分):全国的に始まっている。雲南でもやっている。将来地域が崩壊状態・・・お互いの課題解決。地域に合った。</p> <p>島田議員(5分):人口減少が実現化する。地域の実情がわからない。災害の時も役立つ。自助、共助、公助、近所。公民館。地域の問題解決することが大切である。</p> <p>司会(森脇議員):施設の名称が変わることと、地域コミュニティの組織化、別に考える必要がある。活性化するために何を必要があるか。</p> <p>森川議員(5分):人口減少⇒地域が成り立たない。財源を市が全面的に責任を持つべき。</p> <p>永岡議員(5分):それぞれの地域の問題点の解決。10年先の姿を見据える。課題解決の知恵を出し⇒探る。</p> <p>島田議員:10年、20年、30年先の地域。中心になれる人、組織形成をする。1つの問題を解決⇒次の問題を解決。</p> <p>司会(森脇議員):跡市1千万を使うことから始まった⇒公民館⇒特産品⇒収益事業できる。将来の姿を見据えて。</p>

<p>実施内容報告</p>	<p>意見交換</p>	<p>市民：地域医療、済生会、ハード面の支援ばかりで、ソフト面についてどうかしたらよいのではないか。(工夫)</p> <p>島田議員：人財。位置づけ⇒市立病院として考えてもよい。なくてはならないものとする。過疎地域には医師、看護師不足⇒国、県が責任を持つ。</p> <p>市民：地域コミュニティ。</p> <p>永岡議員：出生率、人口減少の問題。財源だけの問題ではない。</p> <p>森川議員：済生会盲導犬の受け入れ拒否。所得の高い人から税金を払ってもらえば十分財源確保ができる。</p> <p>永岡議員：済生会支援の明細説明。私的な意見だが、総合診療医が必要。</p> <p>森川議員：</p> <p>市民：継続審査について。</p> <p>司会（森脇議員）：審査中なので回答できないが、議論が活発になるようにする。</p>
<p>要望・意見等</p>		

平成28年5月14日

江津市議会議長 藤田 厚様

地区報告会責任者 森脇 悦朗

江津市議会報告会実施報告書

	開催日時	平成28年5月20日(金) 19:00~20:30
	開催場所	二宮地域コミュニティ交流センター
	出席議員	責任者 田中直文 報告者 石橋孝義 多田伸治 田中利徳 記録者 藤間義明(森川佳英、島田修二、永岡静馬)
	参加人数	市民10人、議員8人、事務局2人
実施内容報告	議会報告	○ 開会 (田中直議員) 4分・・・レジメ等 ◎各委員会報告 ・ 総務文教委員会(石橋議員)7分・・・議案説明 ・ 建設厚生委員会(多田議員)5分・・・議案、陳情説明 ・ 予算委員会(田中利議員)8分・・・予算の主な内容を説明
	パネルディスカッション	<p>《西部小学校統廃合について》</p> <p>石橋議員(4分): 建設促進すべき・・・(老朽化がひどい。)</p> <p>多田議員(4分): 建設反対・・・津宮と川波の統合は子どもにとってよくない。</p> <p>田中利議員(4分): 建設に賛成であるが、りっぱに作りすぎることはない。</p> <p>司会(田中直議員): 学校教育の課題(小中一貫教育等)について。</p> <p>石橋議員(3分): 小中が近くにできると小中一貫教育ができるので良い方向である。モデル校になってほしい。必要以上に金を費やすべきでない。</p> <p>多田議員(3分): 学校の建て替えより今の現状を改修すべき。</p> <p>田中利議員(3分): 校舎を建て替えるだけでは教育はよくならない。</p> <p>司会(田中直議員): 終了、休憩。</p>
	意見交換	市民: 保育士確保対策事業。 多田議員: 事業に反対(希望の保育所に入れていないため)

実施 内容 報告	意見交換	<p>市民：歳入が少なくなっているが。保育士は何名いるか。給料が安い。</p> <p>田中利議員：人口減少で少なくなっている。保育士の給料を上げるべきである。</p> <p>石橋議員：歳入が人口減少で少なくなっている。150億前後の予算作成している。</p> <p>市民：累積赤字は。第2の夕張にならないか。</p> <p>多田議員：約200億。今まで箱物を作ってきた影響がある。本当に必要なものにお金を使う。保育士は給料を上げる必要がある。</p> <p>石橋議員：第2の夕張にならないよう、財政の健全化を行っている。4年前は15億であった基金が今は40億近くに増えている。</p>
	意見交換	<p>市民：市の周辺部（特に農業を行っている地域）の人口が少なくなっている。地域の灯を消さないようにしてほしい。</p> <p>多田議員：市長の施政方針で農業従事者の収入を増やすと言っておられる。公共交通の整備について質問していく。</p> <p>田中直議員：農業の施策を市がいろいろ行っているし、まだまだ対策を取るよう訴えていく。</p>
実施 内容 報告	意見交換	<p>市民：25年後人口減少が4割少なくなっている予測であるが、どういう考えを持っているか。</p> <p>石橋議員：UIターンを図っていく。魅力ある発信していかなければならない。働く場を作っていく必要がある。</p> <p>多田議員：江津市版総合戦略は今までと変わらない。働く場所を確保するため、市内の中小企業に1人でも2人でも増やす施策を行っていく。子どもを増やせる環境を作っていく。</p> <p>田中利議員：地域コミュニティーで住みやすい町を作り、UIターンを掘り起こす。</p>
要望・意見等		
その他特記事項		

平成28年5月20日

江津市議会議員 藤田 厚様

地区報告会責任者 田中 直文

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	平成28年5月21日（土）19時00分～20時30分	
開催場所	谷住郷地域コミュニティ交流センター	
出席議員	責任者 藤間義明 報告者 鍛治恵巳子 島田修二 河野正行 記録者 田中利徳	
参加市民数	9人	
実施内容報告	議会報告	<ul style="list-style-type: none"> ・総務文教委員・・・鍛治恵巳子 ・建設厚生委員・・・島田修二 ・予算委員会・・・河野正行
	パネルディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 『地域コミュニティについて』 ・進行・・・藤間義明 ・パネラー 鍛治恵巳子 島田修二 河野正行 <p> ・藤間 本市では過疎化が進み中山間地では、伝統行事等をこれまでのように自治会等で支えあって実施するにも限界が来ている。本市では、このような現状を打破するため連自治会規模の地域コミュニティを立ち上げることにしている。当谷住郷地域でもこの4月にスタートされた。 </p> <p> それでは1番目として、江津市では公民館から地域コミュニティに移行しているが、その現状について伺います。尚、時間の都合がありますので一人3以内でお願いします。また、ここでの発言は議員個人の発言であることを確認しておきます。 </p> <p> ・鍛治 私の地元である渡津はまだ発足しておりませんが、4月には公民館長が交代されるなど発足への動きが見られます。子どもたちの見守り活動等地域で支援していることを若い世代にどのように伝えているのか。また、現在活動している高齢者から若い世代へ引き継ぐことが大切だと思う。地域のコミュニティも大切だが、その基盤となる家族や親子のコミュニティも大切だと思っている。 </p> <p> ・島田 コミュニティとは、何であるかを考えることが必要です。江津市では人口減少が続き25年後に人口が約14000人になると言う統計があるが、約17000人に食い止めるための総合戦略を立てている。それでも現在の人口の40%は減少することになる。そのようになれば、空き家は増加し、地域のつながりが希薄になり、地域内で </p>

の助け合いも困難になります。そこで、地域コミュニティによる自助・公助・共助の支えあいの仕組みを作らなければならない。現状を見ますと、各地域の課題を解決するための、子ども見守り隊、梅の里づくりや黒松港祭りのような新たなイベントも考えられている。このように第1条件は、地域の課題を解決することだ。市の目指す小さな自治組織として活動し、課題を解決したら次の動きを起こすことです。本市の地域コミュニティは、立ち上がったばかりなのでまだ検証するまでは至っていない。

・河野 地域の特色を生かして自立することが大切です。桜江の長谷のように有害鳥獣対策やお助け隊のような取り組みもあります様に、谷住郷地区でも「本モロコ」などを用いた収益事業も考えられます。地域が自立できるよう相談しながら活動してほしい。

・藤間 次に、地域コミュニティの課題は何であると思われますか伺います

・鍛冶 人材育成が必要です。5～10年後に向けて世代交代をどのようにするかが大きな課題です。そのためには、地域の人と人をつなぐ役割のできる人材育成を行い、若い世代を引き込むことが、地域を将来に渡って発展させることとなります。

・島田 「小さな町づくり」をすることです。総合戦略にあるように、自助・公助・共助による地域自治組織、助け合いの組織を作り「住み続けたいまち」をつくり、一人では住めないのだから近所の人と仲良く暮らしたい。大地震があったときなど、近所の人のが就寝場所が分かっているような付き合いをしていると、助けることができる。このような支えあいのできる自治組織をつくり、20年、30年後に、「住みたい、住んで良かった」と思える地域をつくる必要があります。そのためには中心になる人材育成が急務です。また、若い世代20～40歳代の若い世代も20年後には60歳代になる将来への計画的活動も大切になります。人材のバトンタッチできるためには若い世代を育てることや埋もれている人材の掘り起こしも大切です。

・河野 二宮地域コミュニティでは、柿本人麻呂の妻であった「恵良姫」を中心としたまちづくりをしており、史跡を巡るウォーキング大会などを実施している。桜江地区では先ほども申しましたが、桜江の良い点を活かし、例えばお茶やホンモロコなど利用した収益事業も考えられるのではないですか。地域の素晴らしい特色を活かした地域づくりをしていただきたいと思います。

・藤間 それでは、十分に意を尽くさないところもありますが、この辺で終了します。

・・・休憩・・・

	意見交換	<p>・木村様 地域コミュニティが話題になっていますが、谷住郷地域では、森脇様に会長をお願いしまちづくり協議会を立ち上げスタートを切ったところです。しかしながら、まちづくり協議会総会を開催しても出席者が少なく関心が薄い。谷住郷地域では、高齢化率が40%を越え183世帯が暮らしている。まちづくり協議会は、60代の元気な老人が中心です。若い世代は、生活が第1で役員委はなっておりません。現状をどのように引き継いでいくかが問題です。10年後はなかなか見えない状況です。公共施設の見直しはどのようになっていますか。ここには「水の国」がありますが、利活用を含めて見直しをする必要があると思いますが、利用率のみで存続を判断するのでしょうか。どのような論議になっているのか教えていただきたい。</p> <p>・河野 公共施設の見直しをしている先進地を視察してみても、地元との意見の一致を図ることが難しと言われます。しかし、思いと現実の中で、全部残すのは困難であると思われます。今後は、地元との協議の中で各地域で決断していただくことが必要になってくると思います。</p> <p>・島田 「水の国」は、これまでも問題視されています。教育文化施設であり収益は求めてはいないが、今後どのように活用していくかが問題です。計画もなく現状維持をしているのが現実では解決しません。良い活用方法を見出すことが大切です。</p> <p>・大石様 パネルディスカッションでありましたように、地域が自立するためには人材育成を言われましたが同感です。対局的に考えればこれまで市は、地域の学校のような地域の課題は地域で解決するのが本当の自治だと言ってこられたが、このような会に若い世代の出席がないのが大きな問題です。小学校中学校の児童生徒の学力低下をどのような考えておられるのか。今、児童生徒にしっかりと学力をつけることが江津市の将来の基盤をつくることになります。秋田県も福井県も島根県とは地理的に同様なのだが、どのようになっているのか。</p> <p>・藤間 一昨年、総務文教委員会に教育委員会の職員と指導主事が同行して、学力日本一の秋田県と福井県を視察し、そして、昨年は土曜塾を実施している奈良県大和高田市を視察しました。先日は、学力向上について教育委員会の説明を受けたところです。その説明によりますと、授業におけるPDCAサイクルの充実を図っており、更に授業力向上のために積極的に手動主事の学校訪問を行っています。教頭会・校長会へ働きかけも行っています。結果は、一時向上したものの現在は足踏み状態です</p>
--	------	--

	意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ・大石様 福井県や秋田県などの先進地へ視察を実施しているのでしょうか。先生方が視察に行かなければ意味がない。 ・鍛冶 現在は、先進地の秋田県東成瀬村視察に同行された指導主事の橋井先生が学校訪問され島根県の採用している秋田方式の授業の仕方を指導されておられます。東成瀬村は、地域事業への参加率が120%、三世帯同居率が70%以上の教育環境の村でした。 ・大石 更に圧力をかけて、現場の先生方を先進地へ派遣してほしいと思います。 ・森脇様 ネットでデータが取れるから、行かないだろう。 ・安原様 地域おこし協力隊は、現在何人おられます。邑南町は人数が多いのですが。地域の良さは地域の人のほうがよく見えるものだが。 ・藤間 現在2名です。 ・鍛冶 現在、協力隊を探しています。良い人がいれば中部、南部への増員を市は考えています。 ・藤間 現在採用中です。 ・島田 協力隊を如何に使うかが課題です。江津市外から来られているので、地域からの声掛けが大切だと思います。協力隊は全市をカバーしていますから、遠慮なく活用してもらいたい。 ・安原 金融機関が少なく市への振り込みに困っている。 ・藤間 執行部に伝えておきます。 ・森脇 済生会江津総合病院への補助は効果が上がっているのか。また、市民の大切な税金を投入しているのだが、検証はしているのか。先細りの傾向のように思うが。 ・河野 先細りではありません。現状維持に頑張っています。市長や済生会の支部長は、常に米子、松江島へ出かけるなど医師確保に努力をされております。 ・島田 島根県の医師・看護師の充足率は全国で12位なのであるが、東部地域に偏っている。江津市の医師不足を解決するためには、国や県が医師の偏在を無くす施策をとることが大切です。 ・森脇 健康づくりをして、病院に行かないことだ。 ・藤間 大変貴重なご意見をありがとうございました。皆様からのご意見は、しっかり執行部に伝えることし、以上を持ちました議会報告会を終了します。本日はありがとうございました。
--	------	---

要望・意見等	1 公共施設の見直しを、利用率のみで判断しないでもらいたい。 2 金融機関が少なく、市への払い込み等に困っている。 3 児童生徒の学力向上策として、教員の先進地派遣を実施してもらいたい。
その他特記事項	なし

平成 28 年 5 月 27 日

江津市議会議長 藤田 厚様

地区報告会責任者 藤 間 義 明 ㊟

H28年5月議会報告会 アンケート意見結果

議会報告会アンケート

平成28年 5月

会場	開催日・開催時間は良かったですか			委員会報告は分かりやすかったですか			パネルディスカッションのテーマは良かったですか			議員個人の意見や考えを知ることができましたか			次回、議会報告会にも参加したいと思いましたか		
	よかった	よくなかった	どちらでもない	分かりやすかった	分かりにくかった	どちらでもない	よかった	よくなかった	どちらでもない	分かった	分かりにくかった	どちらでもない	思った	思わなかった	どちらでもない
東部 (黒松)	8	0	1	5	2	2	5	0	4	6	1	2	7	0	2
中部 (渡津)	6	1	0	5	2	0	6	1	0	7	0	0	6	0	0
西部 (二宮)	4	0	1	3	1	1	5	0	0	5	0	0	4	0	1
南部 (谷住郷)	4	1	2	5	0	2	5	0	2	5	1	1	4	0	3
計	22	2	4	18	5	5	21	1	6	23	2	3	21	0	6

1. 開催日・開催時間はよかったですか？

よかった

《東部》

- ・参加できたので。
- ・良いのではないかな。
- ・年度の初めでよかった。

《中部》

- ・仕事等が終わった時間でよい。
- ・土曜日は18:30スタートでも良いと思います。
- ・土曜日なのでよい。

よくなかった

《中部》

- ・地元の参加者が少ない。

《南部》

- ・農繁期のため。

2. 委員会報告は分かりやすかったですか？

分かりやすかった

《東部》

- ・バランスがとれていた。
- ・グラフ等を使った説明でわかりやすかった。

《中部》

- ・ていねいに説明されている。
- ・3人様のご意見よろしい。

《西部》

- ・ポイントのみであったが。

《分かりにくかった》

《東部》

- ・簡単すぎる。

3. パネルディスカッションのテーマはよかったですか？

《よかった》

《東部》

- ・他に考えられない！最大のテーマです。
- ・自分で読むだけより聞いてわかりやすかった。

《中部》

- ・地域と関わっているの。
- ・住民の関心の高そうなテーマでよいと思います。
- ・コミュニティーの話、詳細OK。

《西部》

- ・テーマはよかったがH22年から6年間の経過説明が不十分。

《どちらでもない》

《東部》

- ・もう少し突っ込んだ考えがほしい。

4. 議員個人の意見や考えを知ることができましたか？

分かった

《東部》

- ・年代や地域性が加味されてよくわかった。

《中部》

- ・いろいろな考えが解かった。
- ・直接で大変よかった。

どちらでもない

《東部》

- ・人口問題に関する考えが聞きたかった。

5. 次回、報告会に参加したいと思いましたが？

思った

《東部》

- ・会場が年によって移動していて、参加者の顔ぶれが変わる。
- ・議員さんの考えが少しほしい。
- ・議員さん方の率直なお考えを聞けて興味深かったから。

《中部》

- ・勉強になりました。
- ・常に研究したいので。

6. その他、お気づきの点などご記入ください。

《東部》

- ・PR不足。
- ・拡大コミュニティ交換会となってよかったと思う。
- ・「議会報告会」と銘打つと参加しにくい感じがある。もっと多くの市民に参加してほしいと感じた

《中部》

- ・会派の異なる方が多かったのでいろいろ聞けた。皆さんよく考えておられていて、市民の代表なのでガンバッテください。
- ・地域コミュニティについて様々な意見が聞けてよかったです。これからの地域運

営について、自分自身がしっかりと考えを持ち、様々な取り組みに参加していきたいと思いました。

- ・意見交換会の場で地元地区の人からの意見がなかったのはさみしい。
- ・6月議会は傍聴しましょう。
- ・議会への関心が低い。どのようにお考えか？

《西部》

- ・なんとなく市民が市政にまだまだ関心が薄いのでは？借金の削減、ストック（たくわえ）を・・・！保育士の確保
- ・むずかしいことだが市の人口が少しでも減らない対応・対策を。江津丸は・・・う～ん！？
- ・小中連携教育の発想は良いと思う。
- ・語り人を教育の場に入れていくと良いと思う。
- ・参加人員が少ないのにびっくりしました。